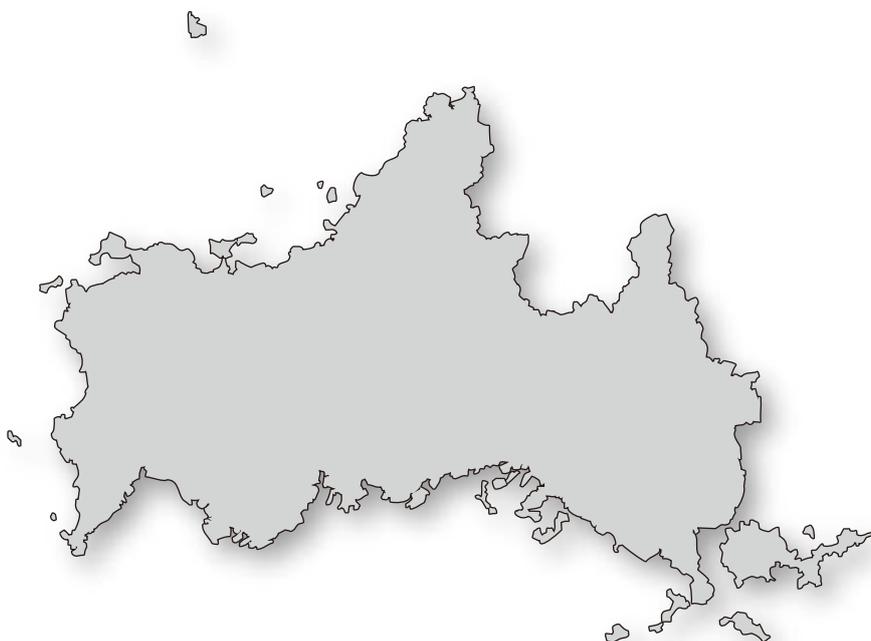


# 山口県商工会地域 中小企業景況調査報告書

2024年4月－6月期



調査要項	1P
1 山口県 全産業	2P
2 山口県 製造業	3P・4P
3 山口県 建設業	5P・6P
4 山口県 小売業	7P・8P
5 山口県 サービス業	9P・10P
6 全国 全産業	11P
7 山口県 調査対象企業の声	12P～14P

2024年7月22日

山口県商工会連合会

# 調査要項

## 1 調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受けて全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的实施に資することを目的とする。(年4回発行)

## 2 調査対象地区及び対象企業等

- (1) 全国商工会連合会により指定された 614 地区の商工会のうち、山口県は 10 商工会 150 企業を調査対象として指定する。
- (2) 調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員 20 名以下、小売業及びサービス業は従業員 5 名以下の企業規模を対象とする。
- (3) 調査対象企業は、1 商工会地域につき 15 企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業（サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス）の 4 種類とする。

## 3 調査対象期間及び調査時点等

- ・ 調査対象期間及び調査内容は 2024 年 4-6 月期における前期及び前年同期に対する景況感（現況）と来期（2024 年 7-9 月期）における景況見通しを調査した。
- ・ 調査は 2024 年 5 月 21 日から 6 月 4 日の期間に実施した。
- ・ 調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

## 4 回答企業数内訳

業 種	対象企業	構 成 比	回答企業	回 答 率
製 造 業	31	20.7%	30	96.7%
建 設 業	28	18.6%	28	100.0%
小 売 業	42	28.0%	42	100.0%
サービス業	49	32.7%	49	100.0%
合 計	150	100.0%	149	—

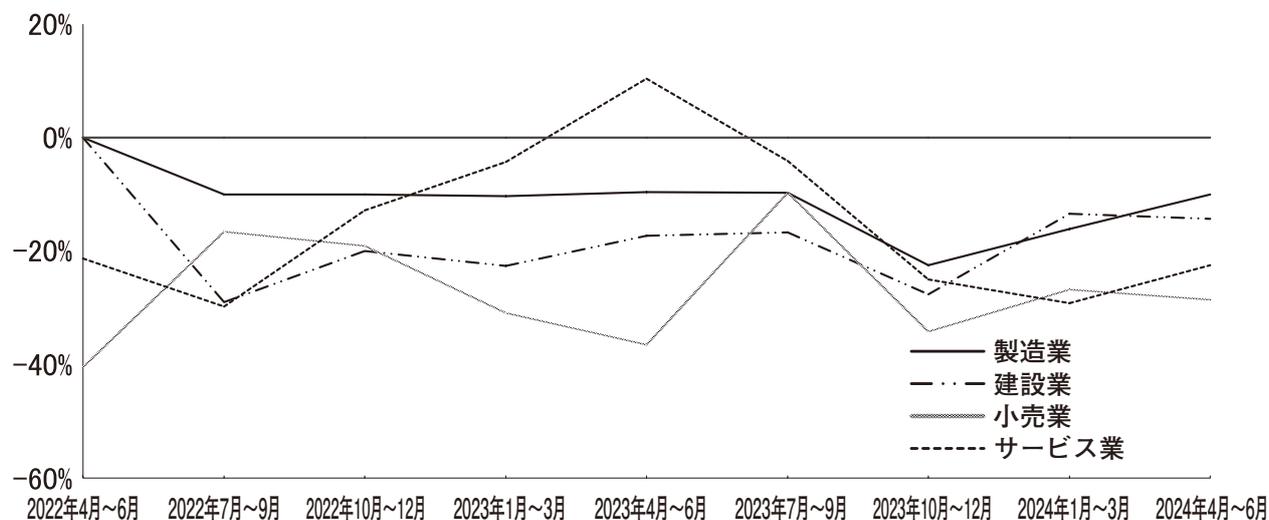
## 5 業況判断指標

景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index (DI) を用いた。DI は前年同期（基準）に対する変化の方向については、上昇（好転）とする回答割合から低下（悪化）とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。

※DI がプラスの場合は「強気・楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ、マイナスの場合は「弱気・悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数（DI ゼロ）の場合は変化がないことを示す。

# 1. 山口県 全産業

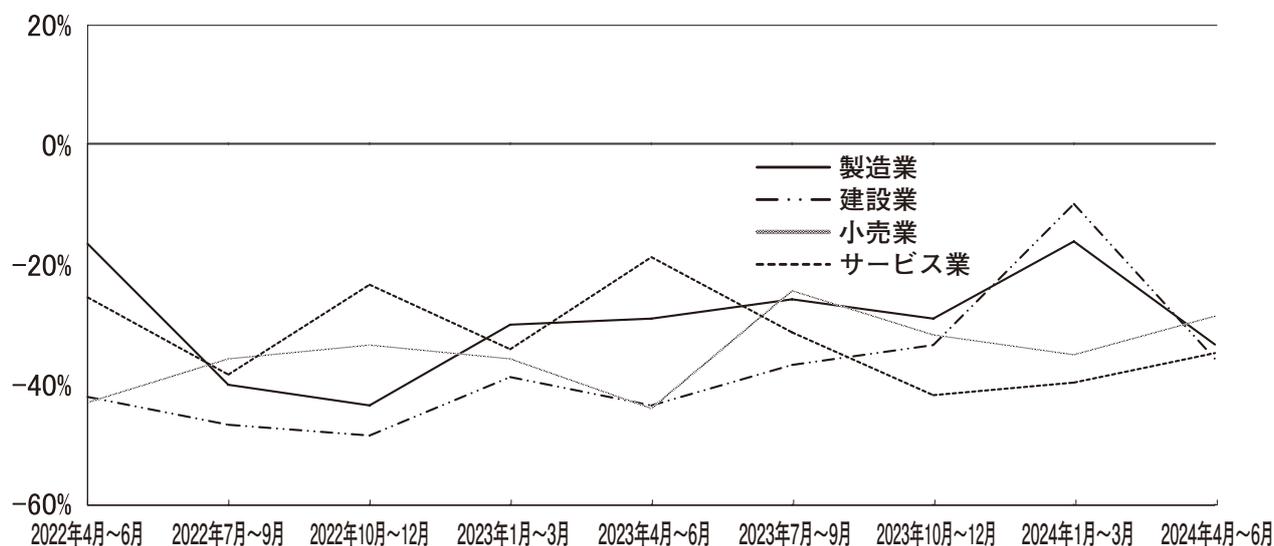
## 1 売上（完成工事）額の推移 —前年同期比—



**D I 値** 製造業 -10.0（前期は -16.1、前年同期は -9.6）、建設業 -14.3（前期は -13.4、前年同期は -17.3）、小売業 -28.6（前期は -26.8、前年同期は -36.5）、サービス業 -22.5（前期は -29.2、前年同期は 10.4）

**業況D I 値** 製造業 -26.7（前期は -19.4、前年同期は -29.0）、建設業 -21.5（前期は -13.3、前年同期は -20.0）、小売業 -26.8（前期は -31.7、前年同期は -36.6）、サービス業 -32.7（前期は -33.3、前年同期は -10.4）

## 2 採算の推移 —前年同期比—

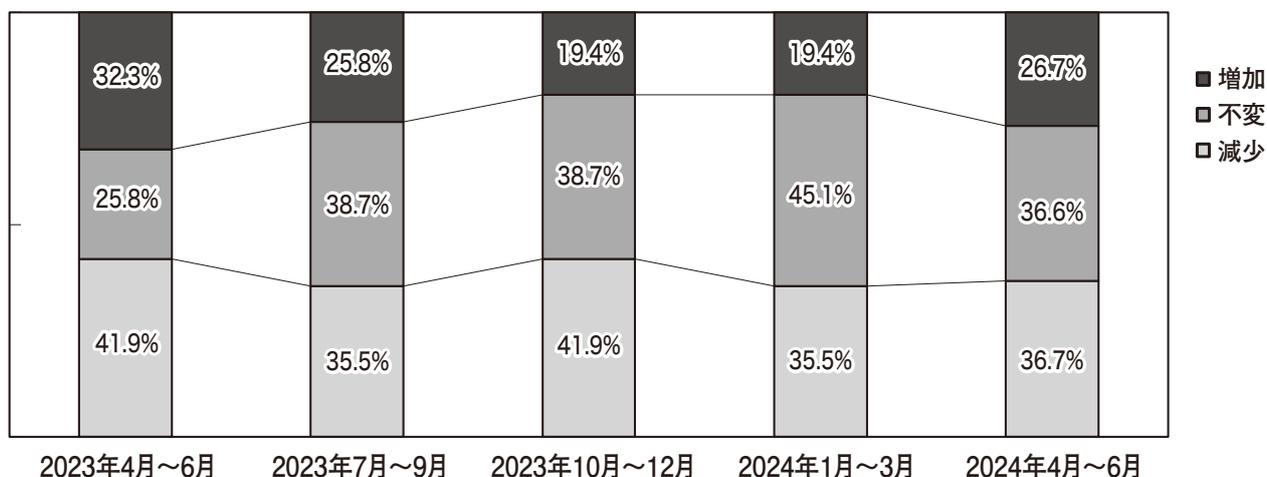


**D I 値** 製造業 -33.3（前期 -16.2、前年同期は -29.0）、建設業 -35.7（前期 -10.0、前年同期は -43.4）、小売業 -28.6（前期は -35.0、前年同期は -43.9）、サービス業 -34.7（前期は -39.6、前年同期は -18.8）

**資金繰りD I 値** 製造業 -6.6（前期は -12.9、前年同期は -19.3）、建設業 -25.0（前期 -20.0、前年同期は -20.0）、小売業 -24.4（前期は -12.5、前年同期は -30.0）、サービス業 -24.5（前期は -22.9、前年同期は -6.3）

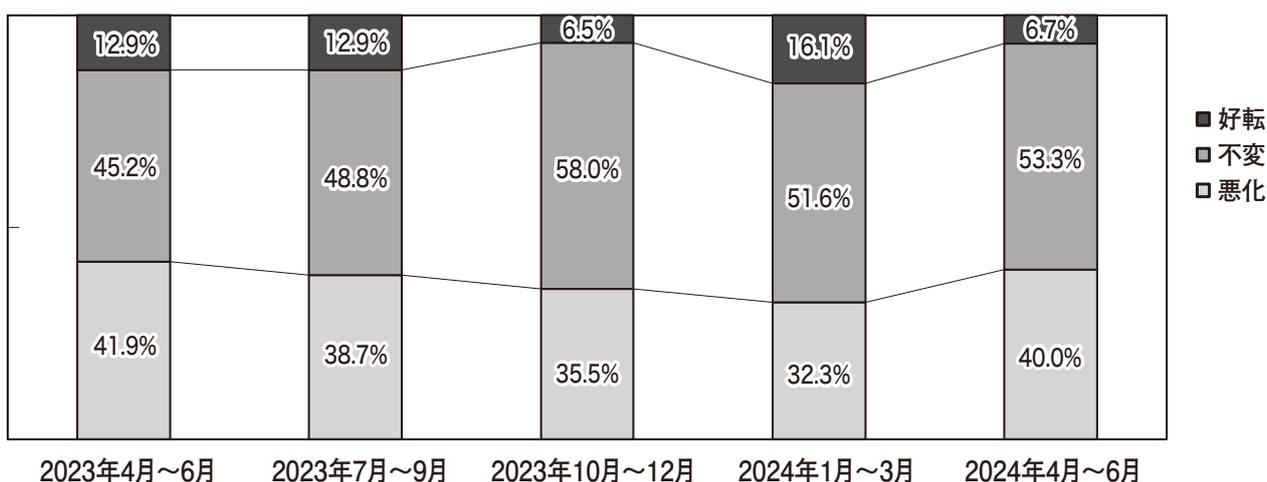
## 2. 山口県 製造業

### 1 ①売上額の状況 —前年同期比—



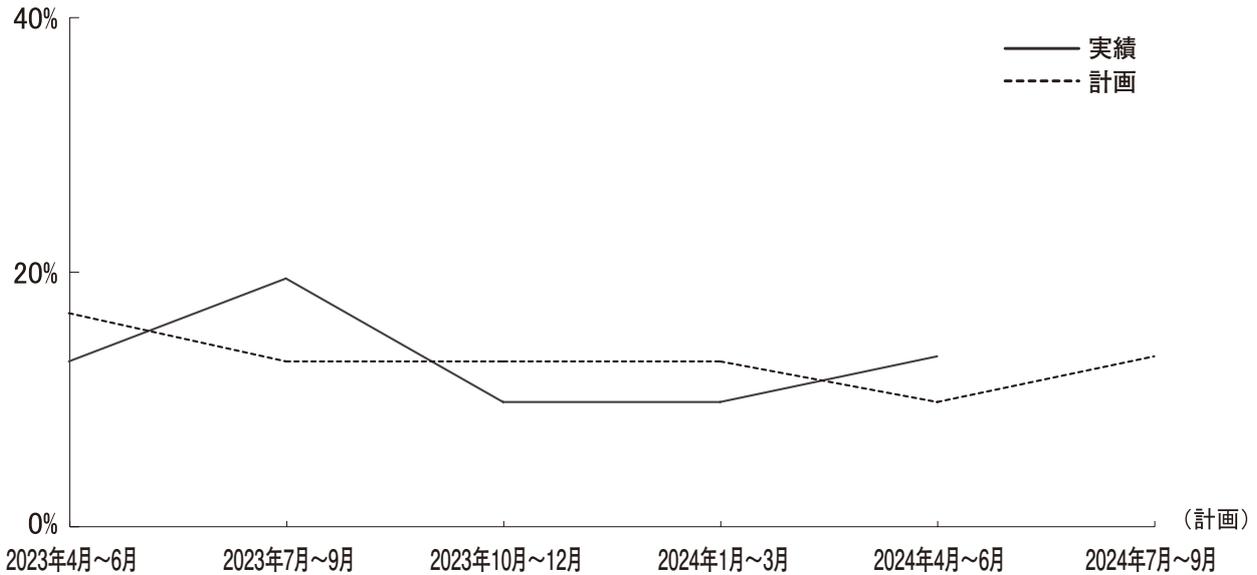
- ②前期と比較 「増加」は 23.3%（前期は 12.9%、前年同期は 22.6%）、「不変」46.7%（前期は 51.6%、前年同期は 35.5%）、「減少」30.0%（前期は 35.5%、前年同期は 41.9%）
- ③来期見通し 「好転」12.9%（前期は 25.8%、前年同期は 27.6%）、「不変」64.5%（前期は 61.3%、前年同期は 51.7%）、「悪化」22.6%（前期は 12.9%、前年同期は 20.7%）
- ④その他のD I 値 原材料在庫数量 -20.7（前期は -10.3、前年同期は -13.3）、製品在庫数量 -18.5（前期は -17.3、前年同期は -13.4）、売上単価 40.0（前期は 16.1、前年同期は 22.6）、売上数量 -30.0（前期は -19.4、前年同期は -25.8）

### 2 ①採算の状況 —前年同期比—



- ②来期見通し 「好転」9.7%（前期は 6.5%、前年同期は 10.0%）、「不変」74.2%（前期は 74.1%、前年同期は 66.7%）、「悪化」16.1%（前期は 19.4%、前年同期は 23.3%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」6.7%（前期は 3.2%、前年同期は 9.7%）、「不変」80.0%（前期は 74.2%、前年同期は 61.3%）、「悪化」13.3%（前期は 22.6%、前年同期は 29.0%）  
来期見通しは、「好転」3.2%（前期は 3.2%、前年同期は 6.7%）、「不変」83.9%（前期は 80.7%、前年同期は 70.0%）、「悪化」12.9%（前期は 16.1%、前年同期は 23.3%）

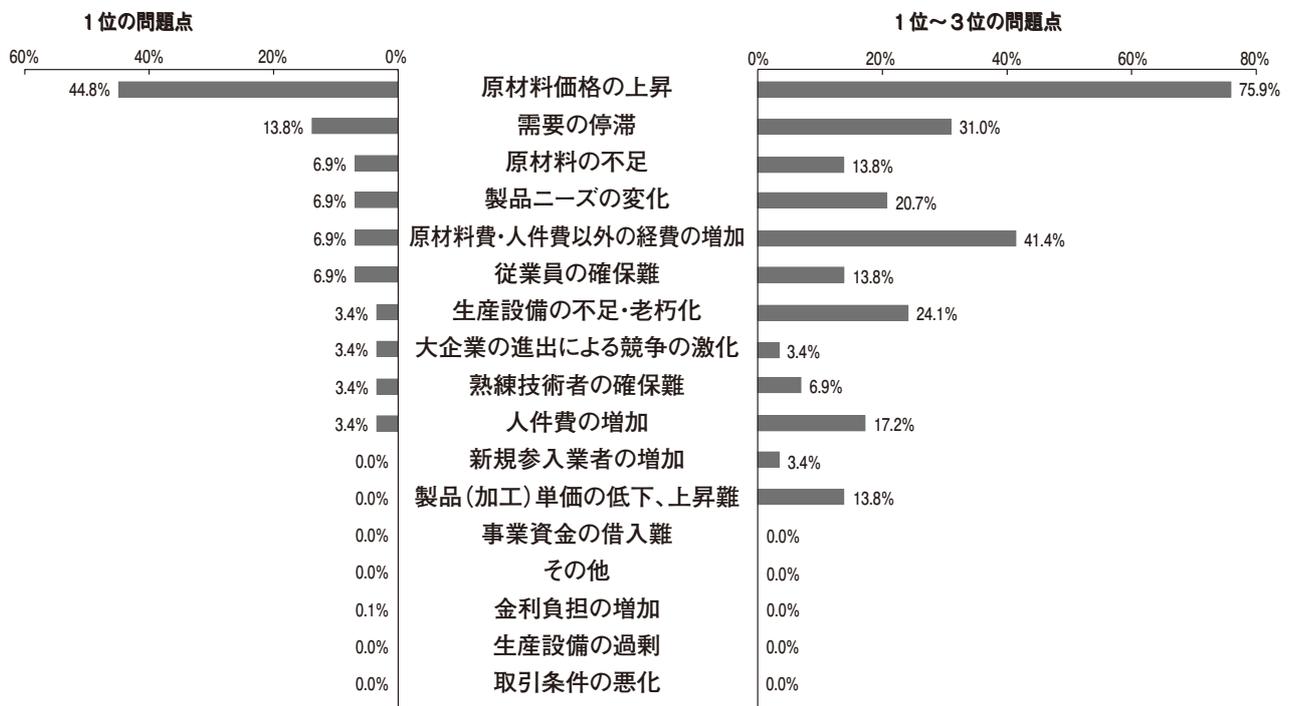
### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業4社（OA 機器3、工場建物1、生産設備1、付帯施設1）、実施しなかった企業26社。来期に設備投資を予定している企業4社（生産設備3、車両・運搬具2、工場建物1、付帯施設1、OA 機器1、福利厚生施設1）、予定していない企業26社。

設備操業率D I 値 -25.0（前期は-20.0、前年同期は-12.9）

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

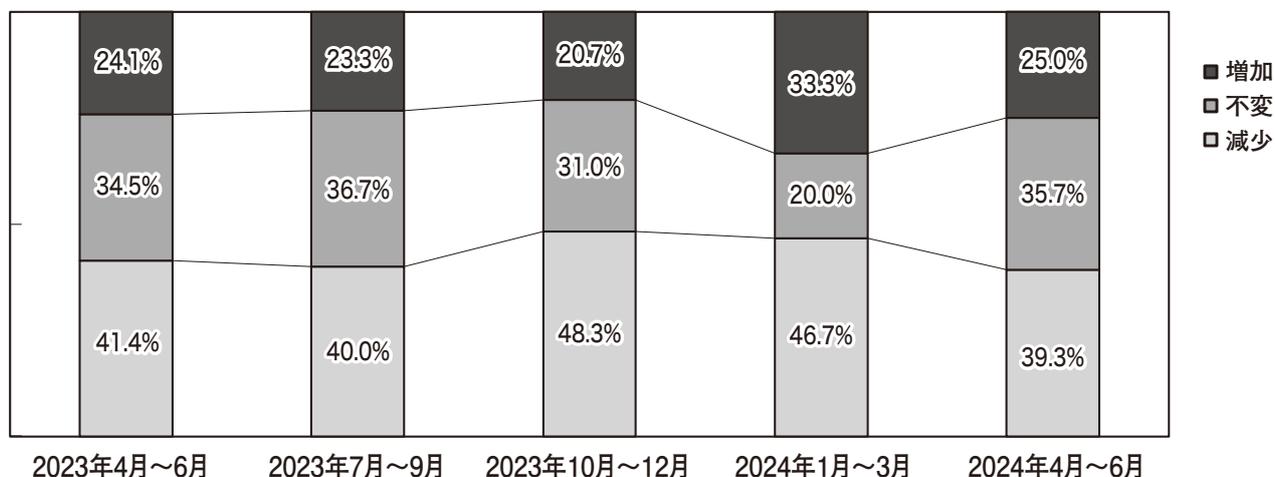


前期と比較で、「需要の停滞」・「原材料の不足」の割合が低下し、「原材料価格の上昇」・「大企業の進出による競争の激化」・「人件費の増加」・「熟練技術者の確保難」の割合が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」12.5%（前期 0.0%、前年同期は 0.0%）、「不変」83.3%（前期は 100.0%、前年同期は 96.3%）、「悪化」4.2%（前期は 0.0%、前年同期は 3.7%）

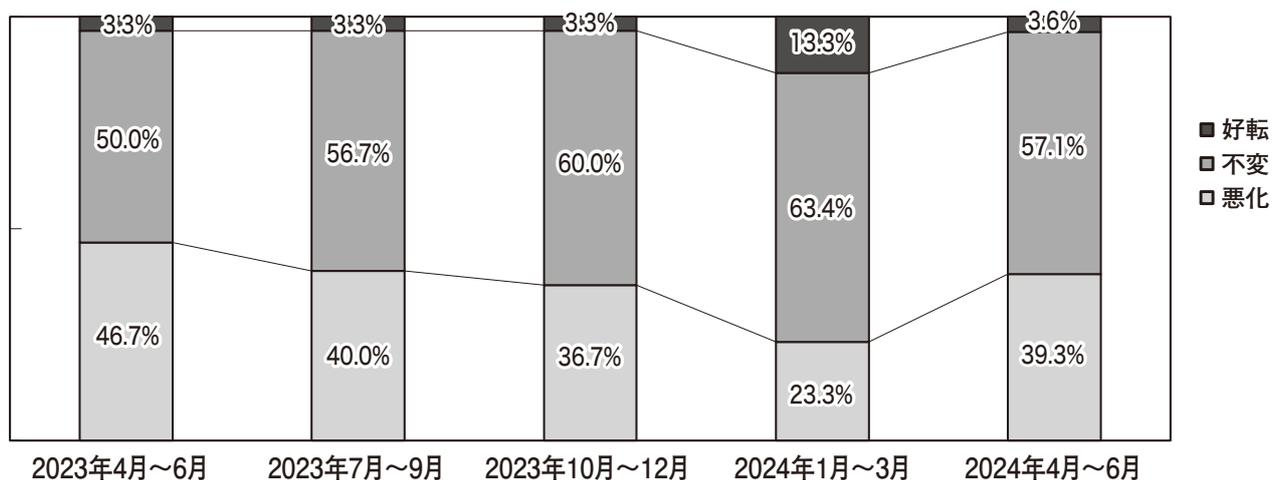
### 3. 山口県 建設業

#### 1 ①完成工事額の状況 —前年同期比—



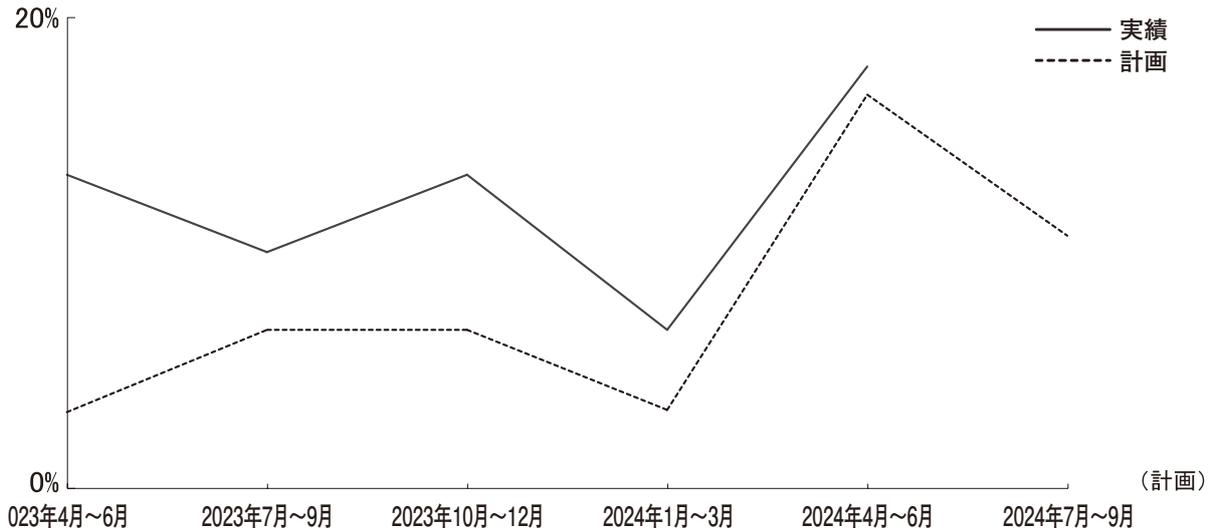
- ②前期と比較 「増加」17.9%（前期は30.0%、前年同期は41.4%）、「不変」39.2%（前期は20.0%、前年同期は24.1%）、「減少」42.9%（前期は50.0%、前年同期は34.5%）
- ③来期見通し 「好転」20.0%（前期は6.9%、前年同期は12.9%）、「不変」36.7%（前期は44.8%、前年同期は45.2%）、「悪化」43.3%（前期は48.3%、前年同期は41.9%）
- ④その他のD I 値 新規契約工事額-7.1（前期は-10.0、前年同期は-20.0）、材料仕入単価89.3（前期は75.9、前年同期は82.8）、引合い-8.4（前期は-12.5、前年同期は-15.4）

#### 2 ①採算の状況 —前年同期比—



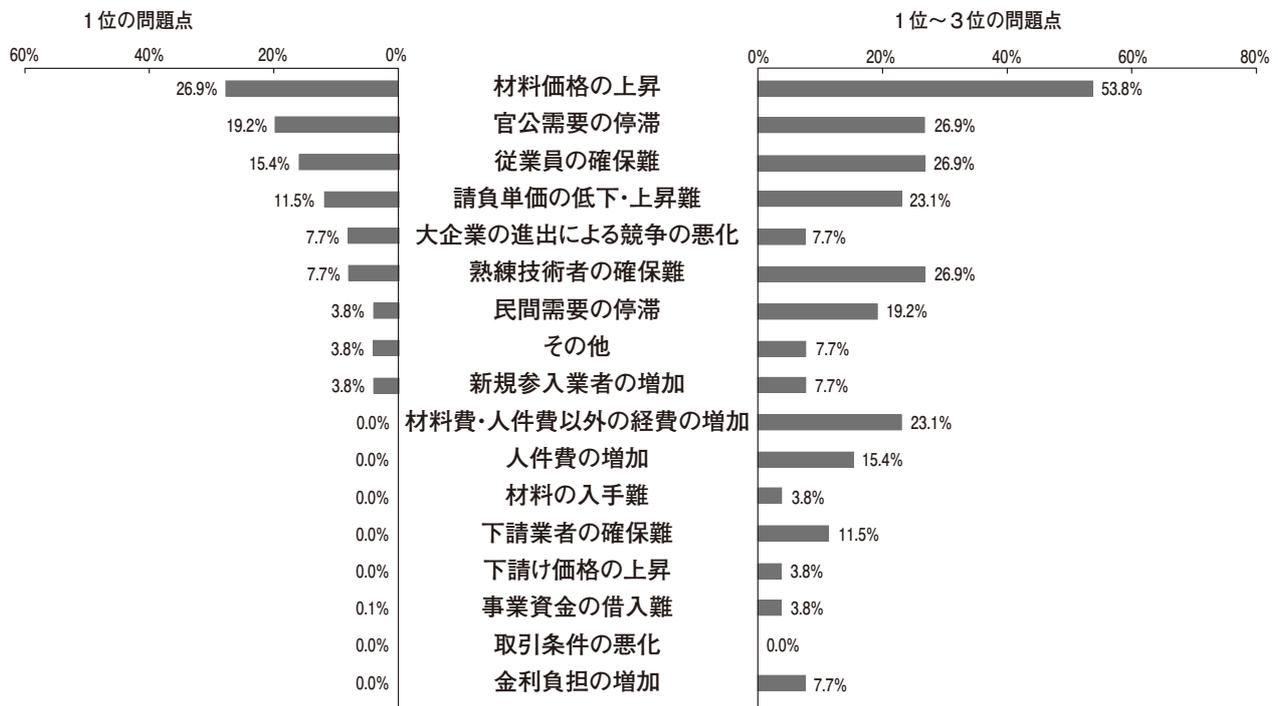
- ②来期見通し 「好転」3.3%（前期は0.0%、前年同期は3.2%）、「不変」70.0%（前期は66.7%、前年同期は64.5%）、「悪化」26.7%（前期は33.3%、前年同期は32.3%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」3.6%（前期は3.3%、前年同期は13.3%）、「不変」64.3%（前期は80.0%、前年同期は66.7%）、「悪化」32.1%（前期は16.7%、前年同期は20.0%）。来期見通しは、「好転」6.7%（前期は0.0%、前年同期は3.2%）、「不変」60.0%（前期は76.7%、前年同期は67.8%）、「悪化」33.3%（前期は23.3%、前年同期は29.0%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業 5 社（建設機械 3、車両・運搬具 3）、実施しなかった企業 23 社。来期に設備投資を予定している企業 3 社（建物機械 1、車両・運搬具 1、OA 機器 1）、予定していない企業 25 社。

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

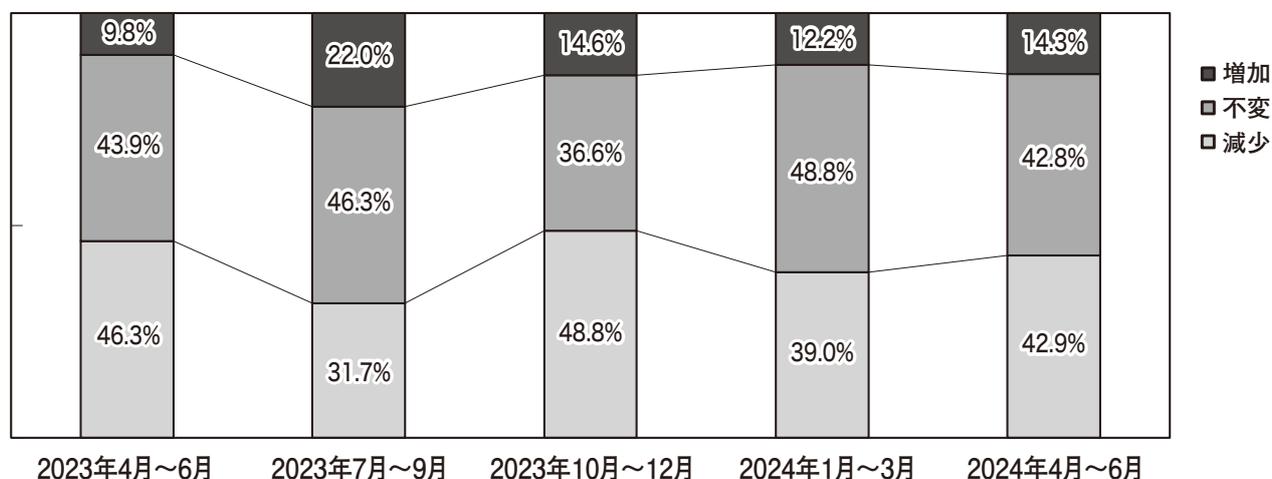


前期と比較で、「民間需要の停滞」・「材料費・人件費以外の経費の増加」の割合が低下し、「材料価格の上昇」・「官公需要の停滞」の割合が上昇した。

**借入金** 前期と比較で、「好転」0.0%（前期は 4.0%、前年同期は 8.3%）、「不変」100.0%（前期は 84.0%、前年同期は 87.5%）、「悪化」0.0%（前期は 12.0%、前年同期は 4.2%）

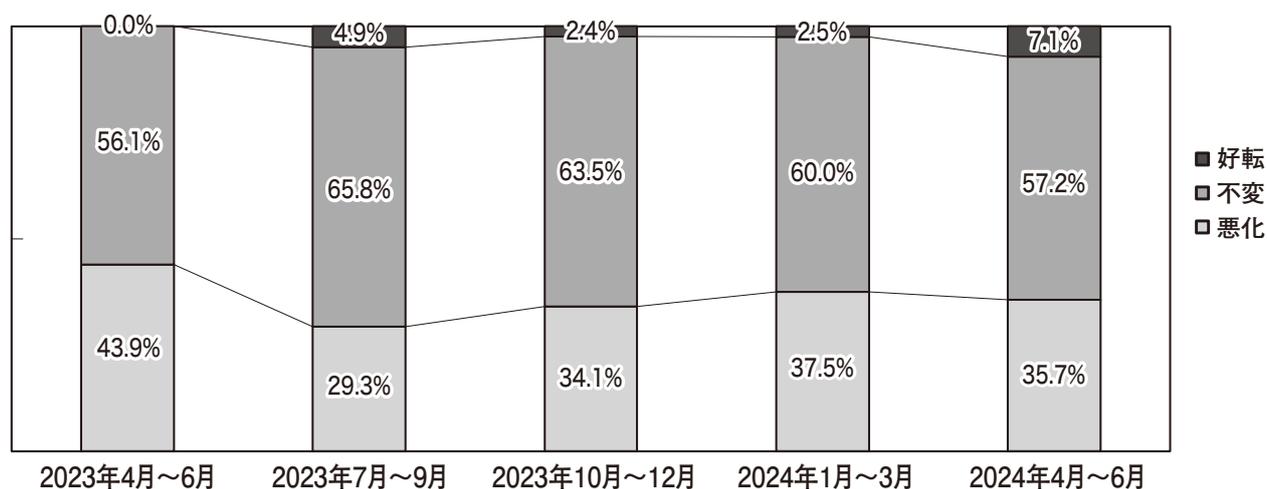
## 4. 山口県 小売業

### 1 ①売上額の状況 ー前年同期比ー



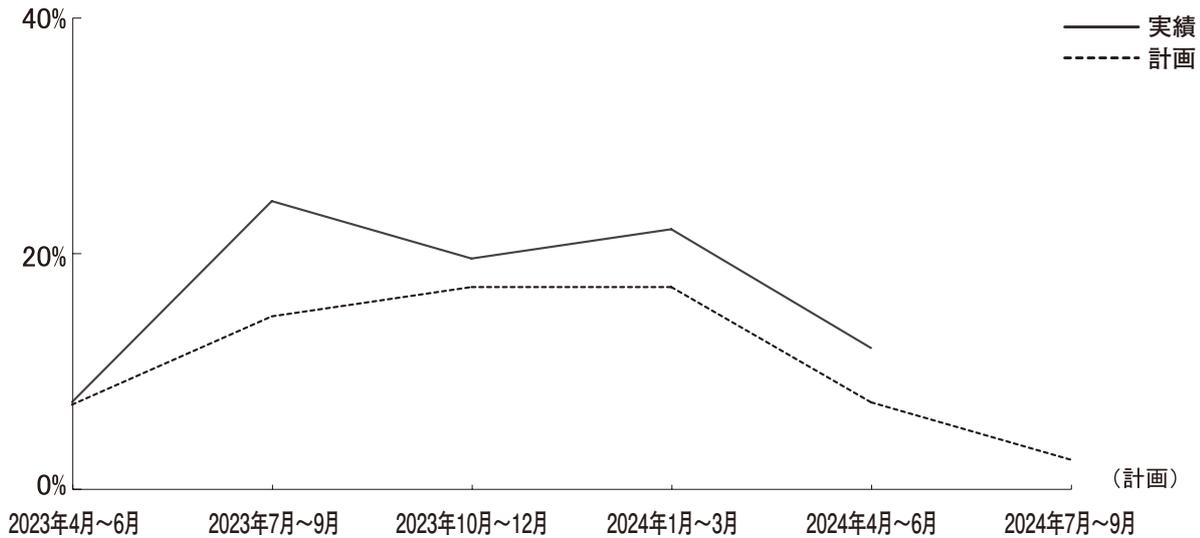
- ②前期と比較 「増加」26.2%（前期は26.8%、前年同期は19.5%）、「不変」35.7%（前期は34.2%、前年同期は43.9%）、「減少」38.1%（前期は39.0%、前年同期は36.6%）
- ③来期見通し 「好転」19.5%（前期は17.1%、前年同期は14.3%）、「不変」43.9%（前期は48.8%、前年同期は38.1%）、「悪化」36.6%（前期は34.1%、前年同期は47.6%）
- ④その他のD I 値 客単価-2.3（前期は-14.7、前年同期は-14.7）、客数-38.1（前期は-29.3、前年同期-39.0）、商品仕入単価54.8（前期は48.8、前年同期は53.6）

### 2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



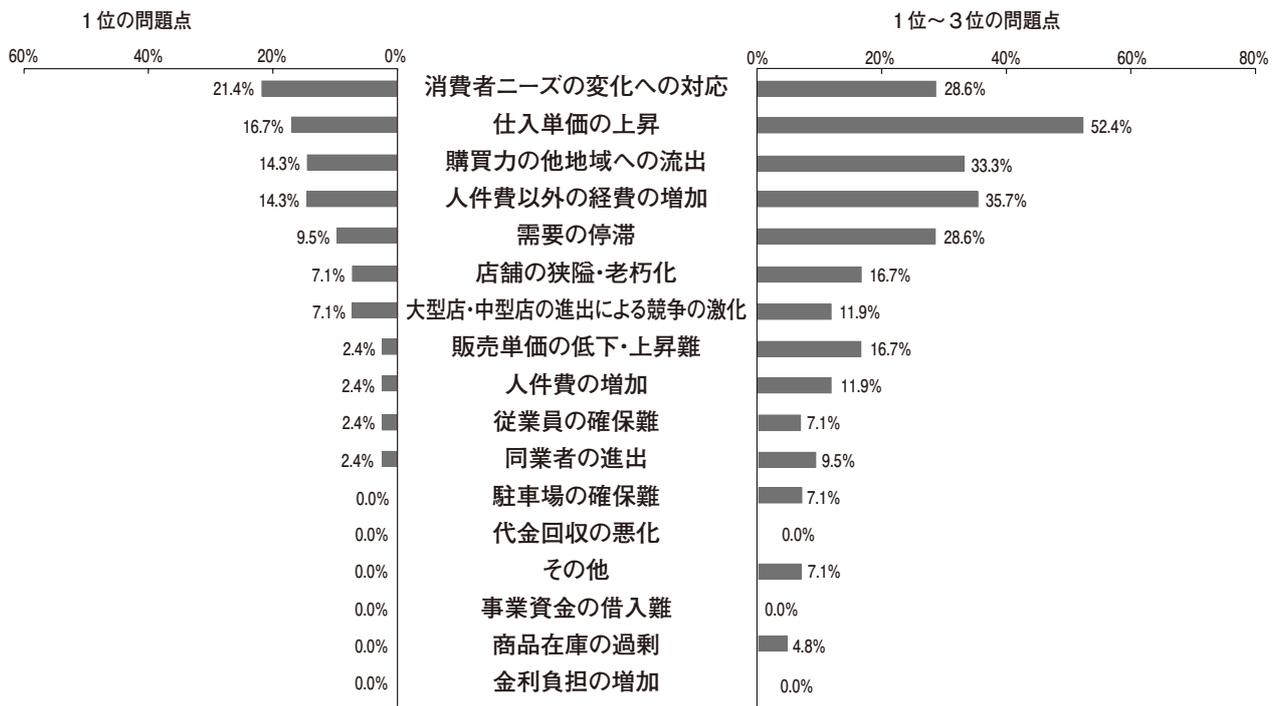
- ②来期見通し 「好転」7.5%（前期は2.4%、前年同期は0.0%）、「不変」62.5%（前期は65.9%、前年同期は64.3%）、「悪化」30.0%（前期は31.7%、前年同期は35.7%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」4.9%（前期は5.0%、前年同期は0.0%）、「不変」68.3%（前期は77.5%、前年同期は75.0%）、「悪化」26.8%（前期は17.5%、前年同期は25.0%）  
来期見通しは、「好転」5.0%（前期は2.5%、前年同期は2.4%）、「不変」72.5%（前期は77.5%、前年同期は68.3%）、「悪化」22.5%（前期は20.0%、前年同期は29.3%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業5社（販売設備3、車両・運搬具1、その他1）、実施しなかった企業37社。来期に設備投資を予定している企業1社（OA 機器1）、予定していない企業41社。

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

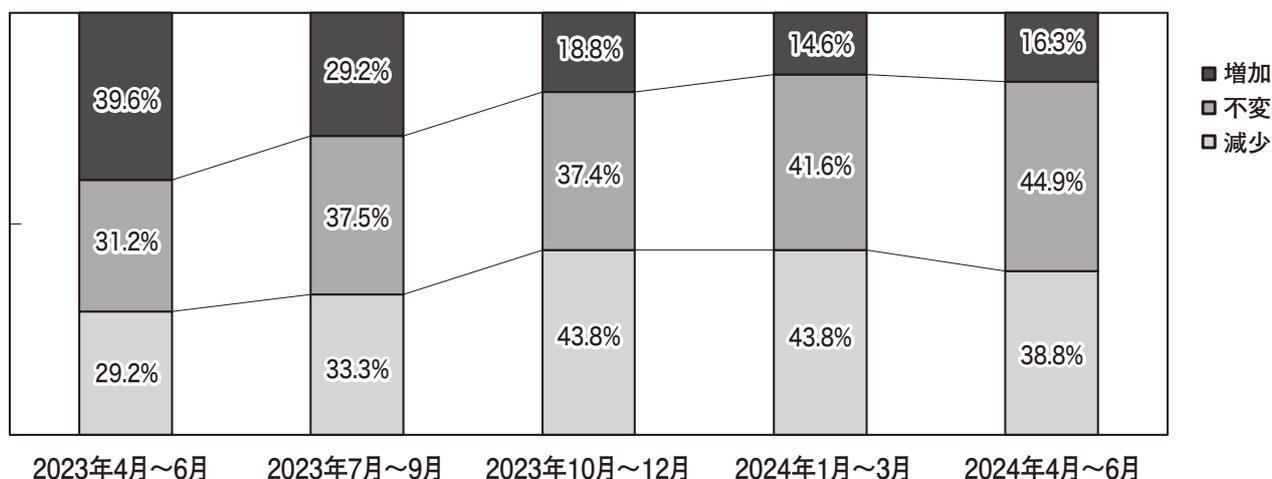


前期と比較で、「駐車場の確保難」・「販売単価の低下、上昇難」の割合が低下し、「消費者ニーズの変化」・「需要の停滞」の割合が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」3.1%（前期は0.0%、前年同期は3.3%）、「不変」93.8%（前期は96.9%、前年同期は93.4%）、「悪化」3.1%（前期は3.1%、前年同期は3.3%）

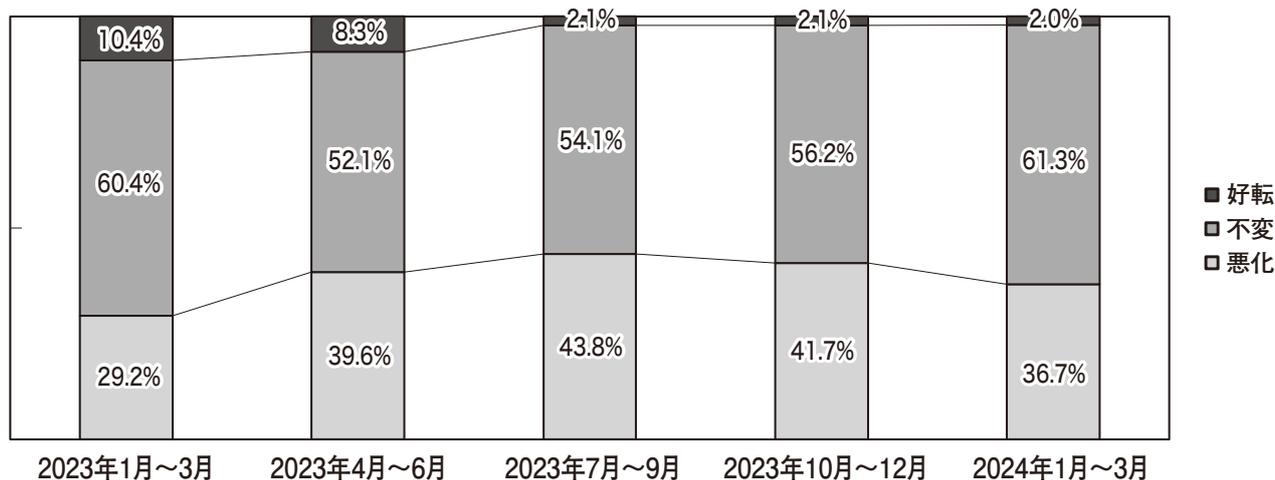
## 5. 山口県 サービス業

### 1 ①売上額の状況 ー前年同期比ー



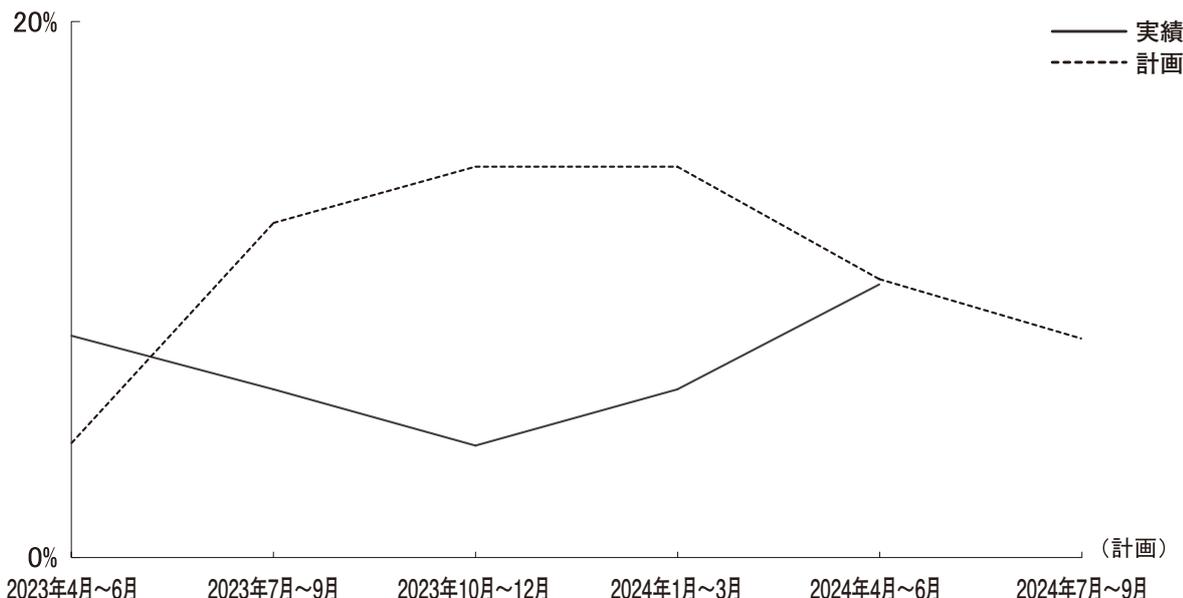
- ②前期と比較 「増加」28.6%（前期は22.9%、前年同期は35.4%）、「不変」38.7%（前期は31.3%、前年同期は33.3%）、「減少」32.7%（前期は45.8%、前年同期は31.3%）
- ③来期見通し 「好転」14.6%（前期は10.4%、前年同期は21.3%）、「不変」54.1%（前期は56.3%、前年同期は46.8%）、「悪化」31.3%（前期は33.3%、前年同期は31.9%）
- ④その他のD I 値 客単価 -10.2（前期は-6.3、前年同期は12.5）、利用客数 -20.8（前期は-29.2、前年同期は-12.5）

### 2 ①採算の状況 ー前年同期比ー



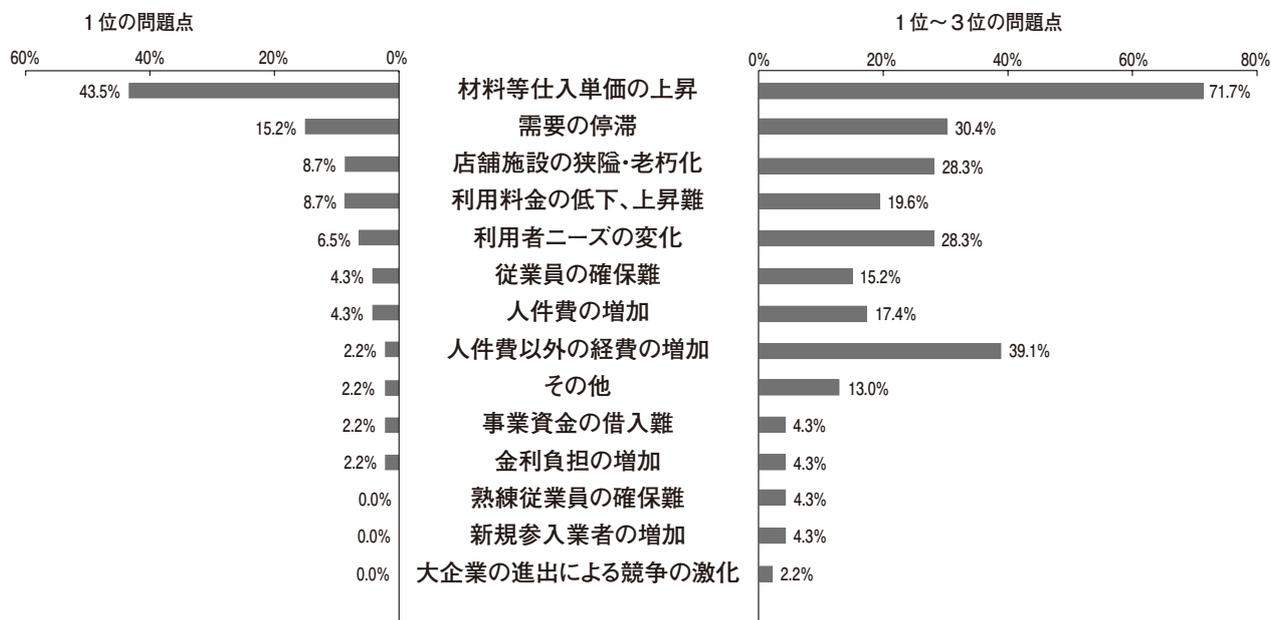
- ②来期見通し 「好転」8.3%（前期は4.2%、前年同期は10.6%）、「不変」60.4%（前期は58.3%、前年同期は51.1%）、「悪化」31.3%（前期は37.5%、前年同期は38.3%）
- ③資金繰り 前期と比較で、「好転」4.1%（前期は2.1%、前年同期は6.3%）、「不変」77.5%（前期は77.1%、前年同期は77.0%）、「悪化」18.4%（前期は20.8%、前年同期は16.7%）  
来期見通しは、「好転」4.2%（前期は2.1%、前年同期は10.6%）、「不変」77.0%（前期は75.0%、前年同期は72.4%）、「悪化」18.8%（前期は22.9%、前年同期は17.0%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業5社（サービス2、付帯施設1、OA機器1、その他1）、実施しなかった企業44社。来期に設備投資を予定している企業4社（建物2、車両・運搬具1、OA機器1、その他1）、予定していない企業45社。

### 4 経営上の問題点の状況（1位と1～3位）

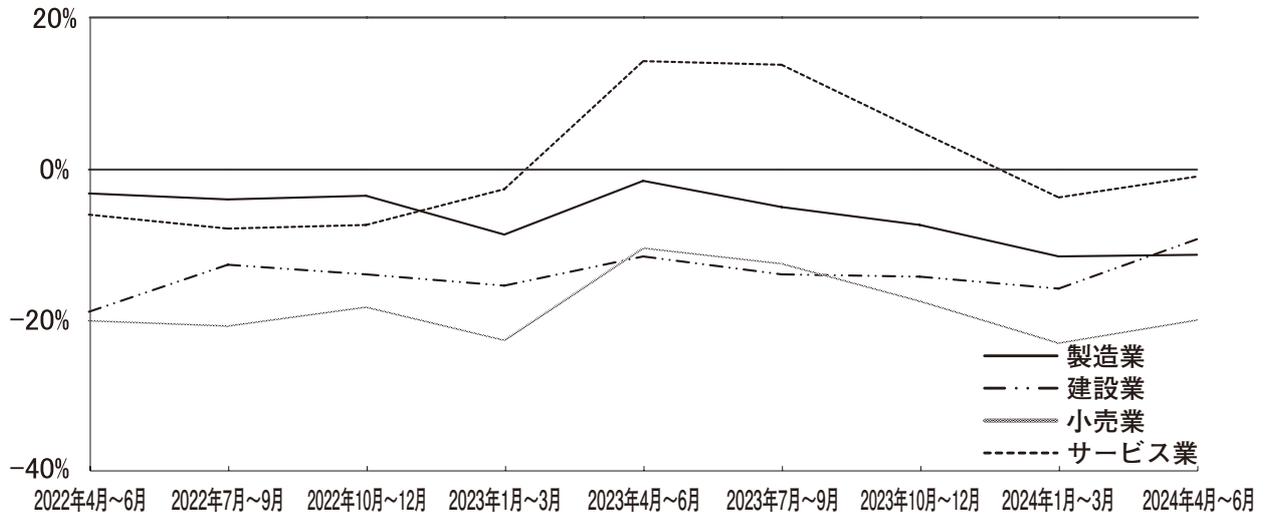


前期と比較で、「人件費以外の経費の増加」「従業員の確保難」の割合が低下し、「材料等仕入単価の上昇」・「金利負担の増加」・「事業資金の借入難」・「その他」の割合が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で「好転」7.7%（前期は2.7%、前年同期は2.6%）、「不変」89.7%（前期は94.6%、前年同期は92.1%）、「悪化」2.6%（前期は2.7%、前年同期は5.3%）

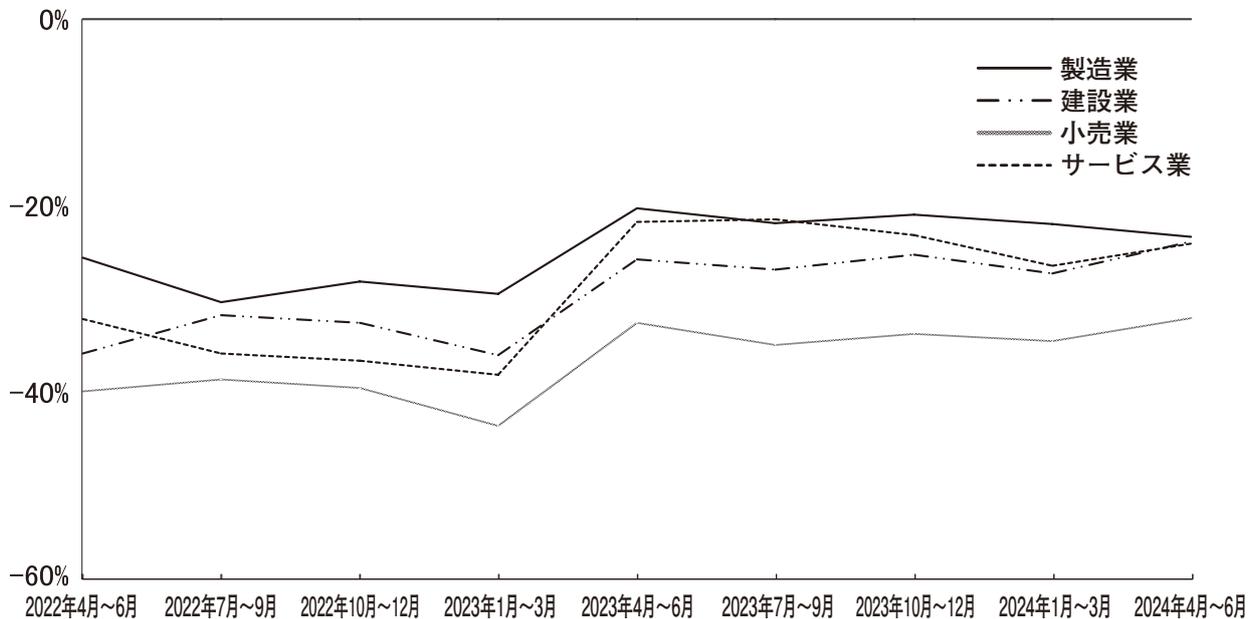
## 6. 全国 全産業

### 1 売上（完成工事）額の推移 —前年同期比—



**DI値** 製造業 -11.4（前期は-11.6、前年同期は-1.5）、建設業 -9.3（前期は-15.9、前年同期は-11.6）、小売業 -20.1（前期は-23.2、前年同期は-10.5）、サービス業 -0.9（前期は-3.7、前年同期は14.5）

### 2 採算の推移 —前年同期比—



**DI値** 製造業 -23.4（前期は-22.0、前年同期は-20.3）、建設業 -23.9（前期は-27.3、前年同期は-25.8）、小売業 -32.1（前期は-34.6、前年同期は-32.6）、サービス業 -24.1（前期は-26.5、前年同期は-21.8）

## 7. 山口県 調査対象企業の声

### ■製造業■

- 原材料の上昇に伴い、価格転嫁が難しい。
- 新型コロナ以降、当社の原料の供給が減少。生産者の廃業が止まらない。それとともに原料の価格が上昇しているが製品価格に転嫁できない。
- 個々の単価は値上げしたが、需要停滞でイベントが少なく、あってもキッチンカーの出現で大変です。また、年々人口減少しており会社など沢山誘致があれば人口増になるかも。
- 将来の従業員確保に不安を感じています。少子化に対応し大手が人員確保にこれまで以上に注力しており、中小企業にまでまわってこない状況。原燃料については、円安も含め不安感が継続しています。

### ■建設業■

- 業界への入職者減少や従業員の高齢化により、人手不足を如実に感じている。
- 仕事の受注はあるが、物価の高騰が激しく利益がさほど伴っていない。人件費負担もかなり大きい。
- 災害による工事を受注しているが、人手不足により思うように進まない。天候に左右される仕事のため、繰越工事が増加している。材料価格も上昇し、黒字化するのが難しい。
- 人材不足、雇用する人が見つからない状況です。下請業者も、市外からお願いしているので、人手不足の事を考えると不安。
- 材料の価格変動があるため、適正に見積に反映させる必要がある。
- 町内に仕事がないので地域外へ出るのが通常になってしまっていますが、下請けでもきちっとしているので安心してしています。アルバイトで人員を増やすことが増えているので喜んでいます。
- 公共事業の減少、それに加え民間事業の減少と全体受注量が減ることにより当然利益の減少となり今後の事業運営に不安を思うところである。
- 受注工事の変更（工期や工事内容）により金額は増加するが、工期が延びるため、毎月の収入が安定しない。
- 新年度に入り1ヶ月過ぎたが、引合いは無い。ベースUPはせざるを得ない状況であるが賃金のUPだけではなく社会保険も上がる。今期はどうか全く予想が立たない状況。

## ■小売業■

- 経費の増大を2店舗の商品共有化等により無駄をなくし利益を増やしたい。
- 長期的な原油高で個人消費が伸び悩んでいるように感じる。とりあえず設備の修繕等で急な出費に備えておく必要がある。
- 商圏内の人口減少、高齢化
- 会議での懇親会の減少、お酒の仕入れ値の高騰、若者の酒離れなどがあり厳しい状況にある。
- 昨年夏に行われた省エネ家電補助金制度の反動が少しずつ出て来ているとの見方がある。
- 人口の減少により、売上に影響が出ている。
- ①仕入単価の上昇…4月から同じ商品の仕入単価が15%~40%UPするので、商品在庫が過剰となった②人件費の増加…各種の必要経費増加、マネジメントのPDCAサイクルの評価・改善に繋がっていない
- 大型店舗の参入により、同商品でも売価格差が激しい。今後はどのような事業展開が必要か要検討する必要があると考えている。
- 新型コロナウイルスの影響が未だに尾を引いている。業績が以前の好況期の6割前後で落ち着いてしまっている。
- 当店の顧客は年金生活者が多く、物価高騰の影響により、生活が困難な状況であると感じている。
- コロナ禍での影響が引き続きあるのか、外出自粛など来客数の減少など中々、以前のようには戻らない。
- 人口減少、少子化により当地区では小規模な小売店舗が減り、コンビニが増加している状況である。ネット通販やコンビニに顧客ニーズがシフトしていく中で、当店の販促の仕方を模索しているところである。
- 業界の先の見通しがつきにくい状況、他業種への参入も考えていけないといけな。

## ■サービス業■

- 仕入価格が上がっているため価格転嫁を行いたいが、値上げが売上の減少に直結するため、タイミングを計りかねている。
- 原材料および光熱費の高騰により利益が出ない。
- 飲食店1本にしたので、会社としての税金、経費を支払うのは、年々厳しくなってきました。会社の廃業を視野に入れながら、田舎の飲食店として生き残っていく方法を考えています。
- ゴールデンウィークのピーク時に、アルバイトの人が揃わず苦勞した。人口減少により、サービス業の人手不足も深刻です。
- 多少の仕入れ値の増加はあるが今のところ問題なく事業ができている。

- 円安で国内需要が望まれる訳だが、先ずは農家で取れ過ぎた野菜などを定期便で配送するシステムなどを設ければフードロス対策の一環になるのではないかと思う。
- 世の中は好景気だが、中小企業にとっては不況である。物価高騰、光熱費、仕入単価も上昇し、おまけに賃上げ、消費者の財布も固くなり、商売もしにくくなっているのではないか。
- 来客数も売上も過去最高でも原価も経費も過去最高で利益が伸びない。値上げをすれば楽になるがそれに慣れるのは恐ろしい。継続的な値上げ社会を目指しているのか？
- 元請けからの単価が、人件費・材料費の上昇分に対して反映されておらず、価格転嫁が出来ていない。
- 宿泊客の安定化及びリピーターの確保について、いかに取り組んでいくのか？また、ディナーの顧客をどのように増やしていくのかが、当店の経営課題であり、今後の集客促進に関わる具体的な取組を検討する必要がある。
- 3～5月は営業の成果として売上が増加した。しかし、同商圏内に競合他社が進出してきたことで、6月以降の当社の業況は厳しい状況と見込む。現在、当社の強みを活かした販促手法を模索中である。
- 6月から従業員が一人増えるのは大変喜ばしいことですが、仕事が増加してくれるかが少々心配です。新しいお客様が来店されるよう、色々声掛けしていきたいと思っております。
- 人材不足による来客制限で売上が減少し、材料費等の上昇で利益が減少しているが、値上げ等を含めて損益分岐点を見直すことで、健全な経営を目指すように努めていきたい。
- 利用されるお客さんの高齢化により、目に見えて少なくなっているのが分かる。指をくわえて待っているのもつらいものがある。
- 仕入価格の上昇や各種経費の増加を料金に転嫁できず、多少の需要が上がっても厳しい状況が続いている。